

第40回県下少年新人柔道大会における 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

【大会実施にあたっての基本的な考え方】

- (1) 感染源を絶つ
- (2) 感染防止の3つの基本
 - ① 身体的距離の確保
 - ② マスク等の着用
 - ③ 手洗い等の徹底
- (3) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避
- (4) 安全な活動環境等の確保

大会実施時の感染防止策について

- (1) 大会開始前
 - ① 大会本部は、かぜの症状（37.5℃以上の発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある選手や引率者等の参加を認めない。
 - ② 監督等は、大会に参加する選手、保護者等に対し、参加にあたっての注意事項等を事前に説明し、同意書（健康記録表兼同意書）を記入させる。
 - ③ 選手は、大会1週間の健康チェックを記録し、健康管理を徹底する。また、当日の朝の体調を記録後、受付にて健康記録表兼同意書を提出し参加確認を受けること。
 - ④ 大会本部は、大会当日受付時に提出用紙の確認や検温で、選手の体調を確認するとともに、大会中に選手やその他（指導者・保護者等）に体調不良がある場合は、大会本部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す。
※ 健康記録表兼同意書を提出できない場合は、大会への参加ができないものとする。
- (2) 大会当日
 - ① 出入り口から、入場・再入場の際には検温・手指消毒を徹底すること。選手、指導者・保護者は大会当日朝、出入り口でチームご毎に検温及び必要書類（兼記録表兼同意書）を提出すること。
 - ② 保護者については、2階のランニングコースからの観戦となる。
 - ③ 選手は試合開始前・試合終了後に手指消毒を実施する。
※各自（チーム）で消毒液を準備し、消毒を行う。
 - ④ 選手は試合中以外、常にマスクを着用すること。
 - ⑤ 役員・補助員は、マスクを着用したまま行う。
 - ⑥ 声を出しての応援はしない。応援は「拍手のみ」とする。
- (3) 大会終了後
万が一、大会終了後に発熱等、新型コロナウイルス感染の強い疑いがある場合は、監督を通じ、（公財）鹿児島県柔道会事務局（事務局長 木本）へ速やかに連絡すること。